

解答

- 一 (1) 裏地 (2) 衛生 (3) 承る (4) 郵便 (5) 看病
 二 (1) エ (2) ア (3) 自己主張 (4) イ (5) ウ
 三 (1) ④ オ ② ア (2) ウ プライバシーの権と考える
 (6) ① ③ ウ (7) ③ プライベート (4) ⑤ エ ⑥ ア (5) イ
 四 (1) 大量のエネ_ル必要とする
 (2) ウ (3) 「ま」んべん 「な_く」
 (4) 背中に_はさがは_れている
 (5) イ (6) ウ (7) ウ (8) 顏色
 (6) 人間的成熟 (7) エ (8) 自らの中に_はり合うこと

- 五 (1) 光吉には、 (2) エ (3) イ (4) ちりもつもればやまと「なる」
 (5) イ (6) ア (7) 千万の大金
 (8) 「古い通帳は、」光吉にとてなにものにも代えられない大切なものだつた「から。」

解説

(1) 一行めで「人もまた、一本の樹ではなかろうか」と、人を樹にたとえています。そして2行めに「樹の自己主張が枝を張り出すように」とあることから、「枝」＝「自己主張」であることを読み取りましょう。そのうえで、そうした「自己主張」が「見えない」のはなぜかを考えます。第2連で「枝と枝とが深く交差する」ことを「知らず」にいることふまえると、そうした「枝」＝「自己主張」は、自分では気づきにくいものだと推測できます。

(2) 「象徴」とは、直接見たりさわったりできないものを、一つの具体的なもので表現することを言います。「ここでは、「個性」という目に見えないものを、「顔」という具体的なもので表しているのです。

(6) まずは傍線部の「こういう視点」の指示内容を読み取りましょう。「プライバシーとは_る自分のもつていてる自分の情報は、それを他人に知らせるかどうかを自分で決めるこ_と、つまり自己情報の自己管理権、と考えたほうがわかりやすい」と述べていることが手かりです。これと同じ内容を傍線部より後から探ししましょう。

(7) 才能にそれほど恵まれていらない作家は、どんなことを行っているのか、傍線部の周辺から読み取ります。才能に恵まれた作家は無意識的にできることでも、才能に恵まれていない作家は「若いうちから自分でなんとか筋力をつけていかなくてはならない。彼らは訓練によつて集中力を養い、持続力を増進させていく」とあります。この若いうちからの訓練によつて得られる力が「才能の「代用品」」です。

五

(7) 傍線部が、「僕の通帳はあの人夫に見つけてもらえたが、あの人夫も、誰かに見つけてもらえたろうか?」という部分と、「それとも」という接続語でつながつてることに注目します。ここで「見つけてもらう」とは、人に価値を認めてもらう（見いだしてもらう）ことだと考えられますから、見つけてもらはずに「まだ荷物の倉庫の中にいる」とは、誰からも評価されない状態のことだと考えられます。

四

(7) 才能にそれほど恵まれていらない作家は、どんなことを行っているのか、傍線部の周辺から読み取ります。才能に

恵まれた作家は無意識的にできることでも、才能に恵まれていない作家は「若いうちから自分でなんとか筋力をつけていかなくてはならない。彼らは訓練によつて集中力を養い、持続力を増進させていく」とあります。この若いうちからの訓練によつて得られる力が「才能の「代用品」」です。

三

(2) 「象徴」とは、直接見たりさわったりできないものを、一つの具体的なもので表現することを言います。「ここでは、「個性」という目に見えないものを、「顔」という具体的なもので表しているのです。

二

(1) 一行めで「人もまた、一本の樹ではなかろうか」と、人を樹にたとえています。そして2行めに「樹の自己主張が枝を張り出すように」とあることから、「枝」＝「自己主張」であることを読み取りましょう。そのうえで、そうした「自己主張」が「見えない」のはなぜかを考えます。第2連で「枝と枝とが深く交差する」ことを「知らず」にいることふまえると、そうした「枝」＝「自己主張」は、自分では気づきにくいものだと推測できます。

一

(7) 傍線部が、「僕の通帳はあの人夫に見つけてもらえたが、あの人夫も、誰かに見つけてもらえたろうか?」という部分と、「それとも」という接続語でつながつてることに注目します。ここで「見つけてもらう」とは、人に価値を認めてもらう（見いだしてもらう）ことだと考えられますから、見つけてもらはずに「まだ荷物の倉庫の中にいる」とは、誰からも評価されない状態のことだと考えられます。